

建設機械の作業計画書

移動式クレーン作業計画書 記入例

車両系建設機械作業計画書 記入例

車両系建設機械(解体用)作業計画書 記入例

車両系建設機械(荷役運搬)作業計画書 記入例

コンクリートポンプ車作業計画書 記入例

高所作業車作業計画書 記入例

クレーン付き台船(1作業)作業計画書 記入例

クレーン付き台船(2作業)作業計画書 記入例

クレーン仕様BH作業計画書 記入例

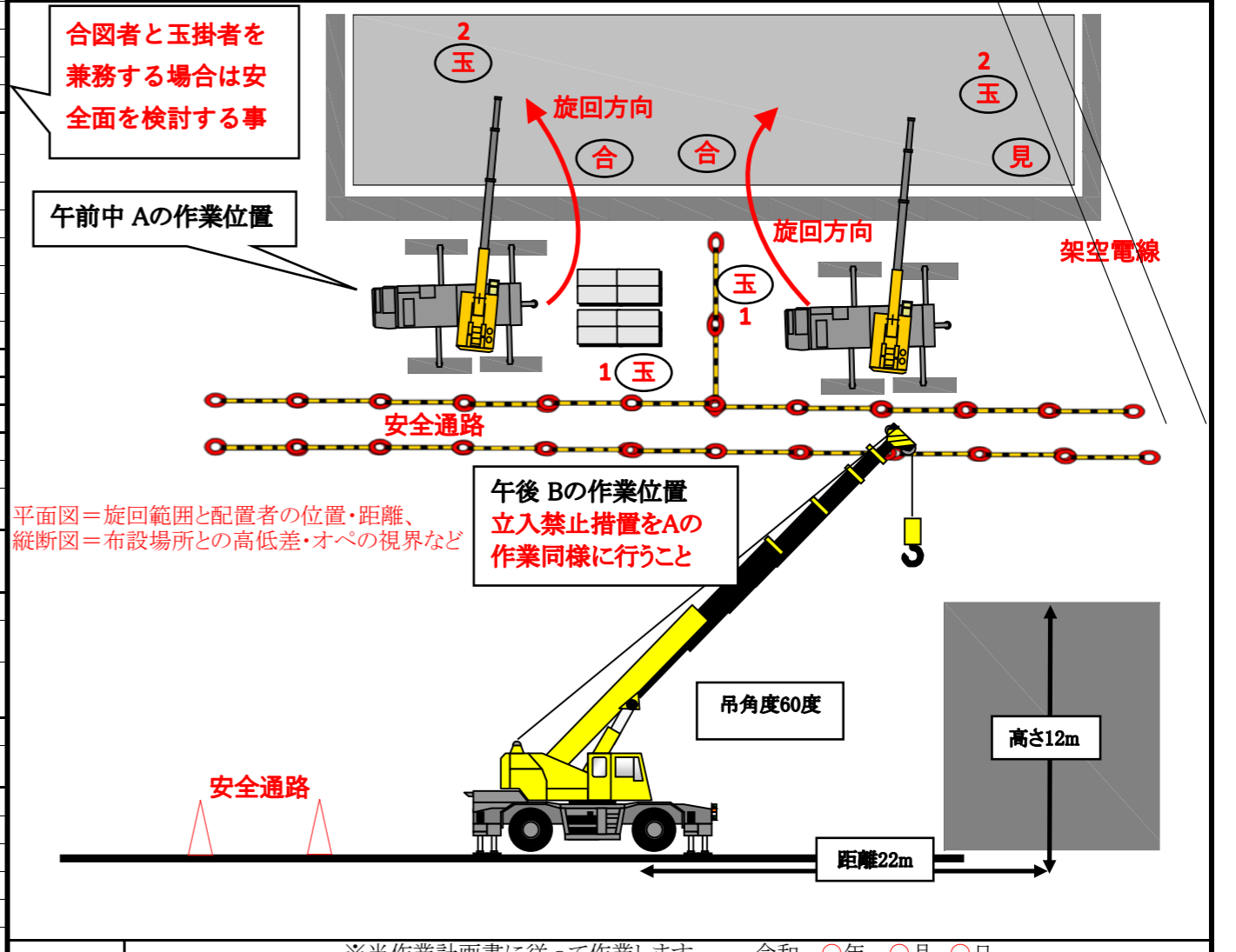
移動式クレーン作業計画書

作業計画打合せ日 令和 ○年 ○月 ○日

統括責任者	元請会社確認	作成者(会社名・担当者)
-------	--------	--------------

作業所名	○○設置○○工事		事業者名	○○建設(株)	
作業予定日時	令和 ○年 ○月 ○日		令和 ○年 ○月 ○日		
作業名	作業 A	足場材荷揚げ	作業 B	鉄筋荷揚げ	
使用機械の能力	名称・型式	ラフタークレーン GR-700N	名称・型式	ラフタークレーン GR-700N	
	最大つり上げ荷重	70t	最大地上揚程	45.2m	
	主ブーム	9.8m	ジブブーム	45.2m	
フック重量	主	0.2t	補	0.15t	
	補	0.15t	主	0.2t	
所有会社	○○機械(株)		○○機械(株)		
運転者	山田 太一	会社名	○○機械(株)	山田 太一	会社名
作業責任者	鈴木 太郎	会社名	○○建設(株)	鈴木 太郎	会社名
玉掛者 1	風間 肇	会社名	(株)○○工業	風間 肇	会社名
玉掛者 2	安堂 敏之	会社名	(株)○○工業	安堂 敏之	会社名
合図者	木村 雅俊	会社名	(株)○○工業	木村 雅俊	会社名
作業方法	吊荷名称	足場材		鉄筋(最大7m)	
	玉掛具	ワイヤーロープ φ(12)mm	繊維ベルト ()mm	ワイヤーロープ φ(14)mm	繊維ベルト ()mm
	玉掛方法	(2)点吊り・玉掛角度(30)度		(2)点吊り・玉掛角度(30)度	
	合図方法	手合図・旗・笛・無線機		手合図・旗・笛・無線機	
地形	平地・傾斜地()度・段差地・路肩		平地・傾斜地()度・段差地・路肩		
作業場所	広い・狭い		広い・狭い		
地盤強度	堅固・普通・軟弱		堅固・普通・軟弱		
地盤養生	要 不要		要 不要		
	敷板・敷鉄板・敷角・水平架台		敷板・敷鉄板・敷角・水平架台		
アウトリガー最大張出	可能・不可	対策	可能・不可	対策	
架空線	有・無		有・無		
	架空電線(特電圧・高圧・低圧)・電話線		架空電線(特電圧・高圧・低圧)・電話線		
埋設物	有・無		有・無		
	GL m		GL m		
立入禁止措置	旋回範囲	監視人・バリケード・カラーコーン		監視人・バリケード・カラーコーン	
	移動範囲	監視人・バリケード・カラーコーン		監視人・バリケード・カラーコーン	
	吊荷下	カラーコーン・バリケード		カラーコーン・バリケード	
	その他	()		()	

重量	作業 A ①吊り荷重量 (0.5)t ②作業半径 (22)m ③フック重量+吊具重量 (0.35)t ④作業半径(2)時の定格総荷重(2.1)t>①+③(0.85t)	半径・数量	作業 B ①吊り荷重量 (1.5)t ②作業半径 (22)m ③フック重量+吊具重量 (0.35)t ④作業半径(2)時の定格総荷重(2.1)t>①+③(1.85t)
配置図記入確認欄	<input checked="" type="checkbox"/> クレーン設置位置 <input checked="" type="checkbox"/> 付属する機械設備 <input checked="" type="checkbox"/> 合図者位置 <input checked="" type="checkbox"/> 玉掛者位置 <input checked="" type="checkbox"/> 吊荷位置 <input checked="" type="checkbox"/> 荷下ろし位置 <input checked="" type="checkbox"/> 旋回方向 <input checked="" type="checkbox"/> 安全通路 <input checked="" type="checkbox"/> 立入禁止区域 <input checked="" type="checkbox"/> 架空線位置 <input checked="" type="checkbox"/> ヘルバンド、腕章による役割明示		
配置図	(作業場所全体を示す平面図・状況に応じて側面図) 図示する事項 工作物・隣接する建物・道路等・移動式クレーンの配置・移動式クレーンの移動範囲・旋回方向 荷の積卸し位置、障害物(架空線等)・敷鉄板等・合図者・監視人・立入禁止範囲・安全通路・その他		



チェック	オペレーター確認事項		当作業計画書運用方法	
A	B			
○	○	資格・免許証は携帯しているか	1	作業責任者が1台ごと、使用日ごとに作成する
○	○	作業方法・作業内容を理解したか	2	「作業責任者」→「元請」→「オペ、作業員」→「元請保管」とする
○	○	玉掛方法・合図方法を確認したか	3	使用者の責任者は、計画内容を記入したうえで関係者全員と打合せ
○	○	当該機械の能力で安全作業ができるか	4	作業計画を変更する時に、元請担当者に申し出ると共に、再度打合せを行う事
○	○	アウトリガーは最大張出にしたか		
○	○	安全装置は正常に作動するか	指導・指示事項	
○	○	旋回範囲内の立入禁止措置は良いか	1	荷の安定を図るために333運動を実施する
○	○	始業前点検を行ったか	2	介錯ロープを使用し荷の安定を図る
備考	作業開始前にOPに記入してもらう		3	吊荷下の人払い及び立入禁止措置を行う
			4	合図者とOPの連絡を密にし災害を防止する
			5	有資格者は免許証の携帯を徹底する

作業員確認欄	※当作業計画書に従って作業します 令和 ○年 ○月 ○日				
	太山 一田	太鈴 郎木	肇 風間	敏安 之堂	雅木 俊村

【参考:安全衛生法・安全衛生規則の条文の要約】
 安衛法 第20条の1・事業者は、機械、器具その他設備による危険を防止するために必要な措置を講じなければならない
 クレーン則第66条の2【作業の方法の決定等】 クレーン則第67条【特別の教育】 クレーン則第68条【就業制限】
 クレーン則第69条【過負荷の制限】 クレーン則第70条の2【定格荷重の表示等】 クレーン則第70条の3【使用の禁止】
 クレーン則第70条の4【アウトリガーの位置】 クレーン則第70条の5【アウトリガー等の張り出し】 クレーン則第71条【運転の合図】
 クレーン則第74条【立入禁止】 クレーン則第74条の4【強風等の作業中止】

車両系建設機械作業計画書

作業計画打合せ日 令和〇年〇月〇日

日々点検しチェックすること

統括責任者	元請会社確認	作成者(会社名・担当者)

作業所名	〇〇掘削工事業所	事業者名	〇〇建設(株)
作業期	令和〇年〇月〇日～令和〇年〇月〇日	作業日	令和〇年〇月〇日
作業名	ボックスカルバート掘削		

区分	機械名称(型式)	能力	台数	所有会社	運転者
整地・運搬・積込用機械	ダンプトラック	10t	4	△△運送(株) 〇〇興業(株)	小林 佑大 根本 正也 金森 明 中島 幸司
掘削用機械	バックホー PC-200		1	(株)〇〇機械	藤村 真治
基礎工事用機械					
締固め用機械					

ダンプトラックは車両系荷役運搬機械であるが、ここでは作業の一環として記載しました。尚、運搬経路やその他計画内容は車両系荷役運搬作業計画書を作成し記入する

選任・氏名	作業責任者	田中 雄大	会社名	〇〇建設 株式会社
	※1 作業主任者	寺本 孝一	会社名	△△工業 株式会社
	※2 作業指揮者	寺本 孝一	会社名	△△工業 株式会社
	※3 誘導者	寺本 和則	会社名	△△工業 株式会社
合図者	合田 毅	会社名	△△工業 株式会社	

合図の方法 手・笛・旗・無線・警笛

立入禁止措置	巡回範囲	誘導者・カラーコーン・バリケード・トラロープ・警報装置 その他(警報装置だけでなく後方カメラを利用し接触を防止する)
	移動範囲	誘導者・カラーコーン・バリケード・トラロープ・警報装置 その他()
	安全通路	カラーコーン・バリケード・トラロープ・安全マット その他()

地形 平地・傾斜地()度・段差地・路肩・その他

対策 BHの移動範囲は敷鉄板を敷き養生を行う

地質 硬岩・軟岩・礫・砂礫・砂・シルト・粘性土・泥炭・瓦礫・その他

対策

地盤強度 堅固・普通・軟弱

地盤養生 敷板・敷鉄板・敷角・水平架台

その他()

機械転倒・転落危険箇所と防止措置 危険箇所 有・無

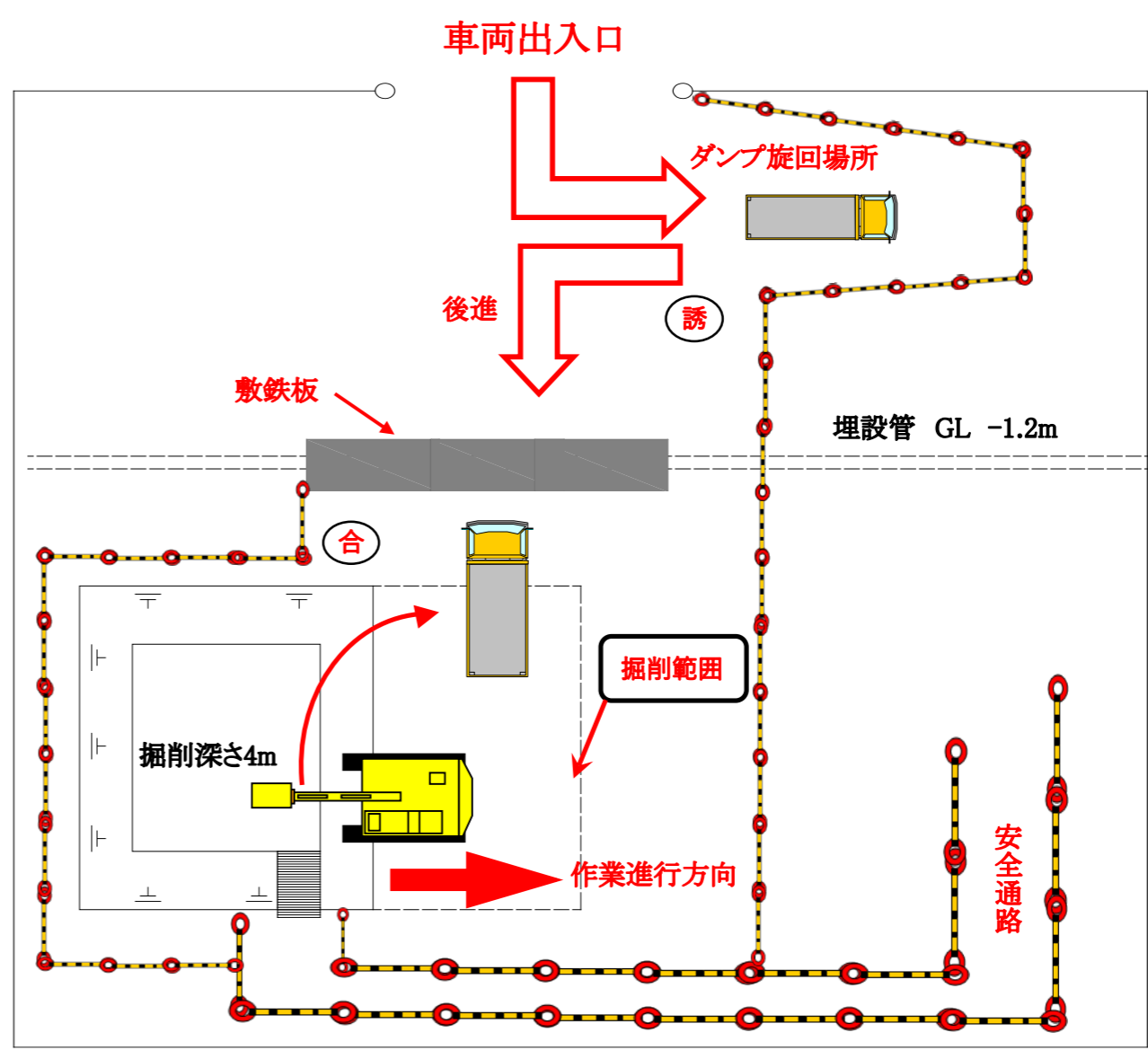
防止措置 機械の振動などで法肩が崩壊する可能性があるため敷鉄板にて養生する

埋設物・架空線近接と防護の方法 埋設物 有・無 GL -2.5 m 架空線 有・無 離隔 m

防護方法 埋設管が作業範囲内にあるので埋設管の上を敷鉄板で防護する。

配置図記入確認欄
機械位置 付属する機械設備 合図者位置 誘導者位置 巡回方向 立入禁止区域 安全通路
架空線位置 埋設物位置 移動する場合の経路・位置 制限速度 ヘルバンド、腕章による役割の明示

配置図 (作業場所全体を示す平面図・状況に応じて側面図)
 図示する事項 工作物・機械の配置・運行経路・(幅員・ガードレール・標識)・作業範囲(誘導者・ガードレール・標識)・危険箇所立入禁止表示・安全通路・作業方法(順序・巡回方向)・その他



作業員確認欄	※当作業計画書に従って作業します 令和〇年〇月〇日							
	雄田 太中	孝寺 一本	和寺 則本	毅 合田	佑小 大林	正根 也本	金 明森	幸中 司島

【対象機械名】(参考)

整地・運搬・積込用機械	ブルドーザー、グレーダー、トラクターショベル、スクレーパー、ずり載機
掘削用機械	パワーショベル、ドラッグショベル、ドラグライン、クラムシエル
基礎工事用機械	くい打ち機、くい抜機、アースドリル、穿孔機、アースオーガー
締固め用機械	ロードローラー、タイヤローラー、振動ローラー

【参考:安全衛生法・安全衛生規則の条文の要約】
 安衛法 第20条の1・事業者は機械、器具その他設備による危険を防止するために必要な措置を講じなければならない。
 安衛則 第154条【調査及び記録】 第155条【作業計画】 第156条【制限速度】 第157条【転落等の防止等】 第157条の2【転倒時の保護機能】
 第158条【接触の防止】 第159条【合図】 第171条の6【立入禁止】

指導・指示事項	配置などの解説
1.作業・巡回範囲の立入禁止を徹底する	※1 安衛則第16条:掘削面の高さ(深さ)が2m以上となる掘削の作業で選任する
2.運転席への昇降は必ず三点支持にて行う	※2 安衛則第15条の4他:車両系荷役運搬機械を使用する作業アタッチメントの装着・取外しの作業、又は修理する作業で選任する
3.給油作業を行うときは手順書に従って行う	※3 安衛則第151条の6.7他:車両系荷役運搬機械が転倒、転落又は接触することにより、労働者に危険が生ずる恐れのある箇所に選任、配置する
4.立入禁止措置を確実に行う	
5.運転席を離れる際は必ず鍵を抜く	

車両系建設機械(解体用) 作業計画書

作業計画打合せ日 令和 ○年 ○月 ○日

日々点検しチェックすること

統括責任者	元請会社確認	作成者(会社名・担当者)

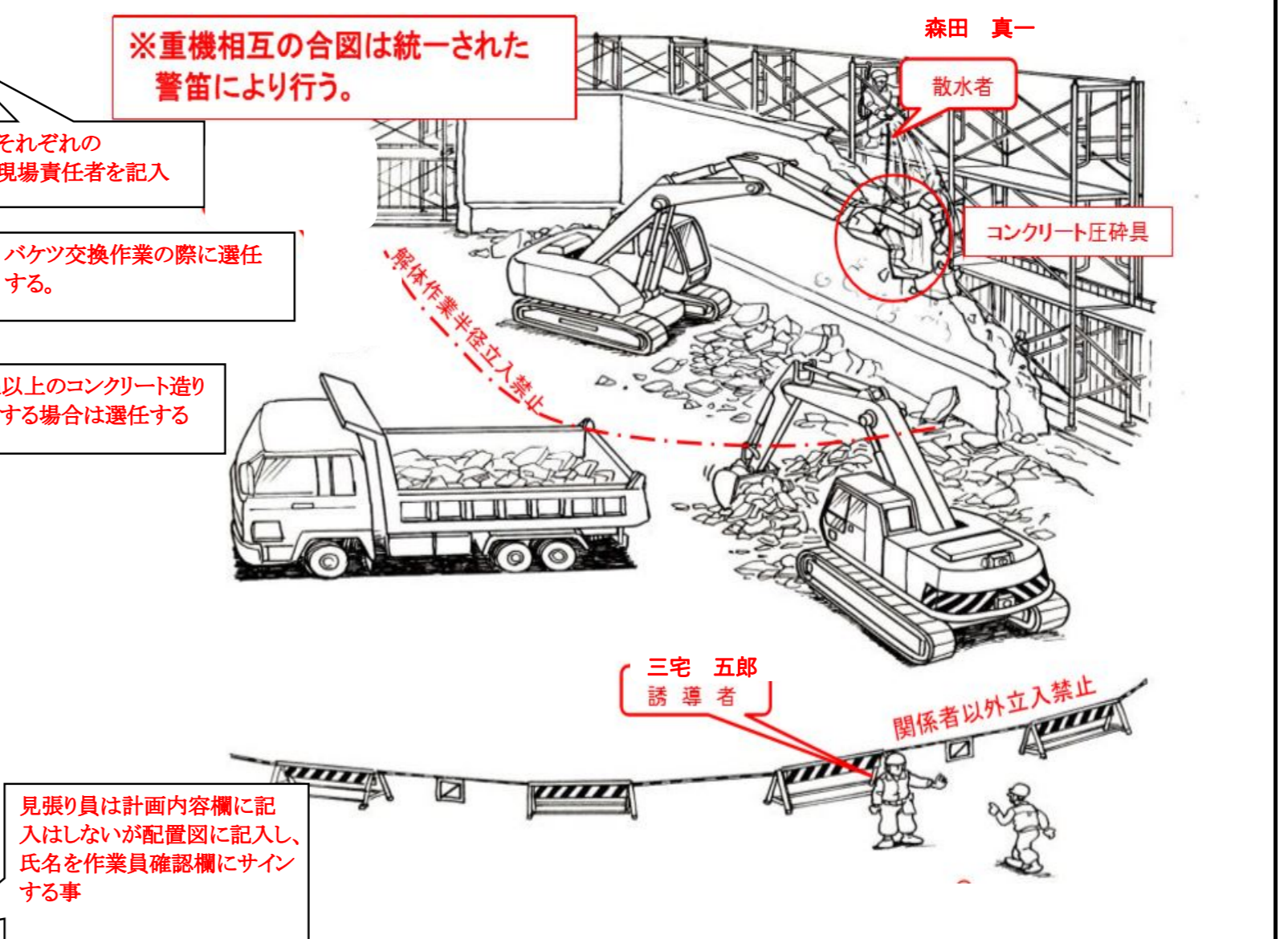
作業所名	○○△△解体工事	事業者名	○○建設(株)
作業期間	令和○年○月○日～令和○年○月○日	作業日	令和 ○年 ○月 ○日

配置図記入確認欄
機械の配置 付属する機械設備等 安全通路 立入禁止区域 旋回方向 誘導者、労働者(散水する者を含む)の位置
架空線等の位置 交換用アタッチメントの保管場所等 ルバンド、腕章による役割の明示

使用機械	作業区分	アタッチメント装着可能重量(kg)①	アタッチメント・名称・型式		最大積載重量(kg)①-②	台数	運転者氏名
	使用機械		破壊力・能力	(重量kg) ②			
1	コンクリート圧砕	2350	油圧クラッシャー FHJ120		※1 1100	1	△△工業(株) 木下 秀樹
	0.7 バックホー A		65t	1250			
2	コン殻積込	2350	バケット		1710	1	△△工業(株) 藤巻 裕一
	0.7 バックホー B		0.7m ³	640			
3	コン殻運搬	能力	所有会社	台数	合計台数	2	橋本 勇吾
	ダンプトラック	10t 8t 4t・3t	○○運搬(株)	2	2		

配置図 (作業場所全体を示す平面図・状況に応じて側面図)
 図示する事項 工作物・機械の配置・運行経路・(幅員・ガードレール・標識)・作業範囲(誘導者・ガードレール・標識)
 危険箇所立入禁止表示・安全通路・作業方法(順序・旋回方向)・その他

計画内容	選任・氏名	作業責任者 日立 真治	会社名	○○建設 株式会社
		※2 作業指揮者	会社名	
		※3 作業主任者	会社名	
		※4 誘導者 三宅 五郎	会社名	△△工業 株式会社
		※4 合図者	会社名	
	合図の方法	手・笛・旗・無線・警笛		
	立入禁止措置	誘導者・カラーコーン・バリケード トラロープ・警報装置 その他()		
	地形	平地・傾斜地()度・段差地・路肩・その他・作業場(広い・狭い)		
	地質	硬岩・軟岩・礫・砂礫・砂・シルト・粘性土・泥炭・瓦礫・その他		
	地盤強度	堅固 普通 軟弱		
地盤養生	要 不要 敷板・敷鉄板・敷角・水平架台 その他()			
機械転倒・転落危険箇所と防止措置	転倒・転落危険箇所	有・無 (解体したコン殻を足場にした際に転倒) 防護方法 コン殻を重機の足場にする際には平坦に均すこと		
埋設物・架空線近接と防護の方法	埋設物	有 GL m	架空線	有 離隔 10 m
	防護方法	無 架空線下での作業の際には見張り員を配置して作業を行う		
転倒転落時保護構造	転倒時保護構造	機械Aは有 機械Bは無し シートベルトの着用: 有・無		
落下物・飛散物等による危険性の有無と防止措置	無・有 (コンクリート片が運転席の窓に飛散し割れる) 防止措置: 重機は強化ガラスを使用し、運転席前面に鋼製のメッシュを使用			



作業員確認欄	※当作業計画書に従って作業します						令和 ○年 ○月 ○日		
	真日 治立	五三 郎宅	真森 一田	秀木 樹下	裕藤 一卷	勇橋 吾本			

指導・指示事項	
1. 作業・旋回範囲の立入禁止措置を徹底する	3. 給油作業を行うときは手順書に従う
2. 運転席への昇降は必ず三点支持にて行う	4. 解体時は散水を行い粉塵の予防を行う
選任など解説	
※1 解体用つかみ機の場合は「最大持ち上げ荷重」を記載する	
※2 安衛則第151条の15:バケット・アタッチメント交換作業の際に、選任する	
※3 安衛則第16条:高さ5m以上のコンクリート造りの構造物を解体する場合は、選任する	
※4 立入禁止措置を誘導者で行う場合に選任し、合図方法を定める	

【参考:安全衛生法・安全衛生規則の条文の要約】

安衛法 第20条の1 ・事業者は、機械、器具、その他設備による危険を防止するために、必要な措置を講じなければならない
 安衛則 第155条 ・事業者は車両系建設機械を用いて作業を行うときは、あらかじめ前条の規定による調査により知り得たところに適応する作業計画を定め、かつ、当該作業計画により作業を行わなければならない

安衛則第154条 【調査と記録】 安衛則第156条 【制限速度】 安衛則第157条【転落等の防止】 安衛則第158条 【接触の防止】
 安衛則第159条 【合図】 安衛則第166条の3 【アタッチメントの装着の制限】 安衛則第166条の4 【アタッチメントの重量の表示】
 安衛則第171条の4 【特定解体用機械の使用の禁止】 安衛則第171条の6 【立入禁止】

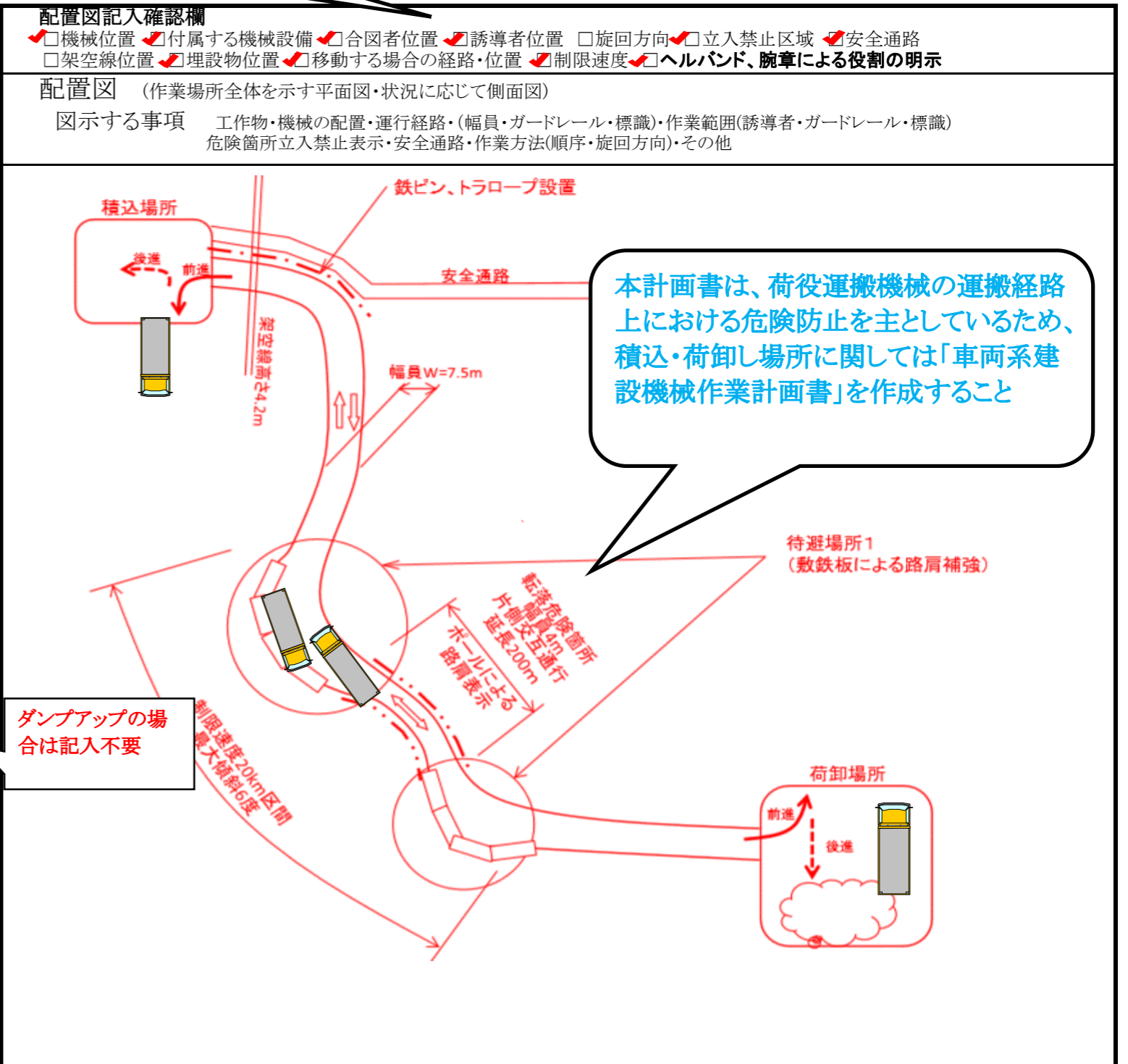
車両系(荷役運搬)作業計画書

作業計画打合せ日 令和〇年〇月〇日

日々点検しチェックすること

統括責任者	元請会社確認	作成者(会社名・担当者)

作業所名	〇〇掘削工事作業所		事業者名	〇〇建設(株)	
作業期間	令和〇年〇月〇日～令和〇年〇月〇日		作業日	令和〇年〇月〇日	
作業時間	午前8時～午後17時				
作業名					
使用機械	機械名称	能力	台数	所有会社	運転責任者
	ダンプトラック	10t	2台	(株)〇〇運搬	中田 要
	〃	10t	2台	△△運送(株)	中村 元太
それぞれの現場責任者を記入					
※欄が不足の場合は別紙に記入する事。また、「運転責任者」は所属会社の現場責任者名を記入する					
選任	作業責任者	岡田 章吾	会社名	〇〇建設 株式会社	
	※1 作業指揮者	岡田 章吾	会社名	〇〇建設 株式会社	
	※2 作業主任者		会社名		
	※3 誘導員	松山 太郎	会社名	△△工業 株式会社	
合図者					
運搬路の状態	片道	片道	約 5 km	幅員	約 4～7.5 m
	路面状況	舗装・砂利・鉄板・土・雪		最大傾斜	約 6 度
	制限速度	20～30 km/h		高さ制限	該当無し
	運行方法	対面通行・一方通行・交互通行・その他(一部交互通行区間あり)			
	待機場所	無・有(片側区間に2か所設置、荷を積んだ車両を優先)			
積荷の状況	荷の種類	レキ混じり土		荷の形状(重量・有害性含む)	平積 (6㎡×1.8t/㎡=10.8t)
場所の広さ	積込場所	広い・狭い・非常に狭い		荷卸場所	広い・狭い・非常に狭い
積卸方法	積込方法	BH 0.7㎡級・クレーン・人力		荷卸方法	BH ㎡級・クレーン・人力
合図の方法	手・笛・旗・無線・クラクション・その他()				
荷崩れ、落下飛散の有無	無・有()				
転落・転倒危険箇所	転落・転倒危険箇所	有・無 危険個所の状況(一部盛土上を走行)			
	防止措置	標識・ガードレール・トラロープ・単管柵・バリケード ・その他(ポールによる路肩表示、敷鉄板による路肩補強)			
人・物との接触危険	危険箇所	有・無 危険個所の状況(積込場所付近に安全通路あり)			
	防止措置	バリケード・安全通路の設置・誘導員の配置・標識の設置 ・その他(鉄ピン、トラロープによる立入禁止措置を実施)			



指導・指示事項

- 積込時や積卸時に後退する際は、目視での後方の安全確認と合図者の指示に従って行う
- 場内運搬時の作業員との接触や、場外での第三者との接触を防止する
- 場外運搬時の安全運転を朝礼時に周知し、法令の厳守を徹底させる
- 始業前点検を行い異常があった場合は使用しない

配置などの解説

※1作業指揮者: 車両系荷役運搬機械を用いて作業を行うときは、当該作業の指揮者を定め、その者に作業計画に基づき、作業の指揮を行わせる

※2作業主任者: はい作業などを、ともなう場合は選任する

※3誘導者: 労働者と接触の恐れがある場合で、作業の性質上立入禁止措置が、困難な場合に選任する

※当作業計画書に従って作業します 令和〇年〇月〇日

作業員確認欄	章岡 吾田	太松 郎山	要 中田	元中 太村					
--------	-------	-------	------	-------	--	--	--	--	--

【参考:安全衛生法・安全衛生規則の条文の要約】

安衛法 第20条の1 ・事業者は、機械、器具、その他設備による危険を防止するために、必要な措置を講じなければならない

安衛則 第151条の3 ・事業者は車両系荷役運搬機械等を用いて作業を行う場合は、あらかじめ当該作業に係る場所の広さ、地形、機械の種類・能力、荷の種類・形状等及び運搬経路、作業方法を定めた作業計画書を作成し、関係労働者に周知しなければならない **不整地運搬車又は貨物自動車を用いて行う道路(公道)上の作業は除く**

安衛則第151条の4 【作業指揮者】 安衛則第151条の5 【制限速度】 安衛則第151条の6 【転落等の防止】

安衛則第151条の7 【接触の防止】 安衛則第151条の8 【合図】 安衛則第151条の10 【荷の運搬】

※車両系建設機械(荷役運搬)等とは、フォークリフト、ショベルローダー、フォークローダー、スラドルキャリアー、不整地運搬車、構内運搬車、貨物自動車(ダンプトラック、タンクローリーを含む)が該当する

コンクリートポンプ車 作業計画書

作業計画打合せ日 令和〇年〇月〇日

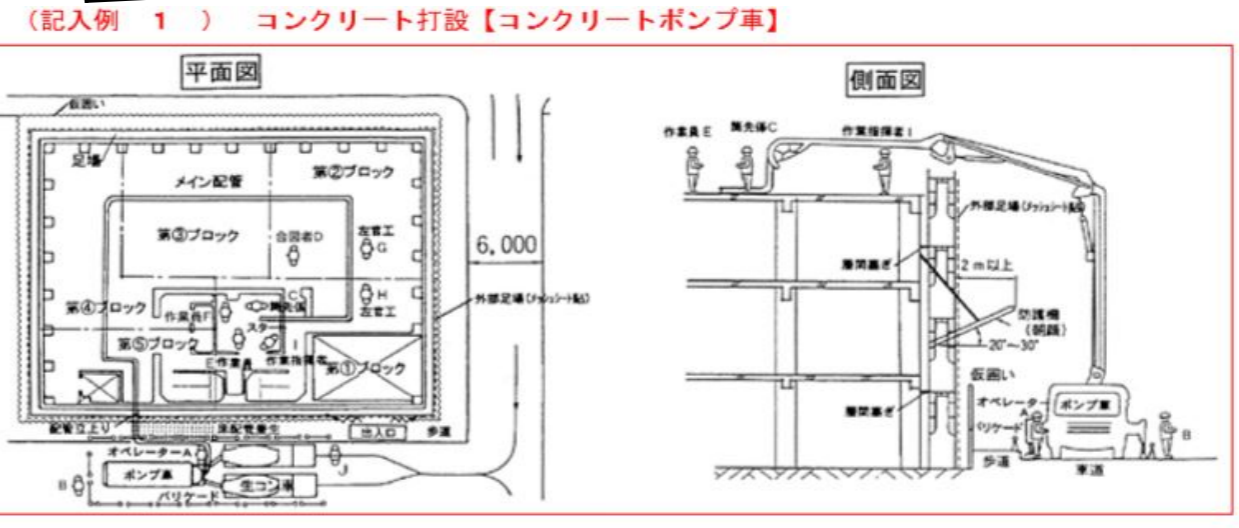
日々点検しチェックすること

統括責任者	元請会社確認	作成者(会社名・担当者)

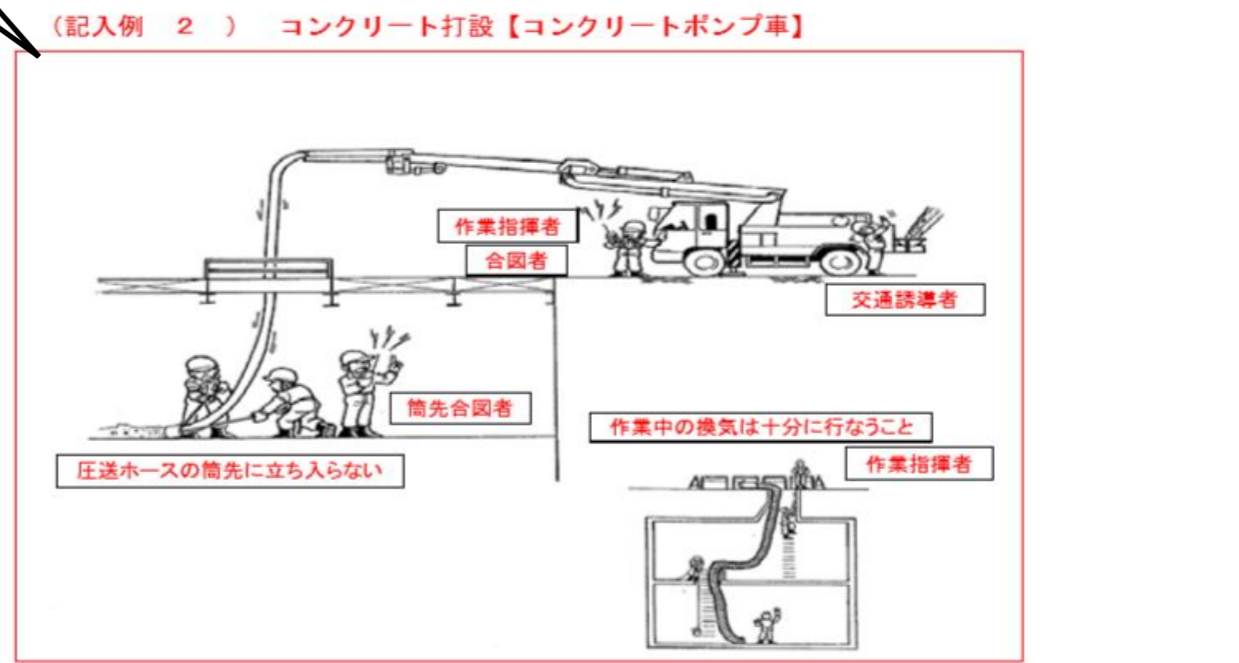
作業所名	〇〇△△躯体工事作業所			事業者名	〇〇建設(株)
作業期間	令和〇年〇月〇日～令和〇年〇月〇日			作業日	令和〇年〇月〇日
作業名	〇〇の床版コンクリートの打設				
使用機械(型式・名称)	架装形式	圧送方法	吐出量	操作方法	
PY110-25	・ブーム式 ・配管式	・ピストン式 ・スクイズ式	70m ³ /h	・操作盤位置操作 ・無線リモコン	

配置図記入確認欄	<input checked="" type="checkbox"/> 機械位置 <input checked="" type="checkbox"/> 付属する機械設備 <input checked="" type="checkbox"/> 合図者位置 <input checked="" type="checkbox"/> 誘導者位置 <input type="checkbox"/> 旋回方向 <input checked="" type="checkbox"/> 立入禁止区域 <input checked="" type="checkbox"/> 全通路 <input type="checkbox"/> 架空線位置 <input type="checkbox"/> 埋設物位置 <input type="checkbox"/> 移動する場合の経路・位置 <input type="checkbox"/> 制限速度 <input checked="" type="checkbox"/> ヘルバンド、腕章による役割の明示
配置図	(作業場所全体を示す平面図・状況に応じて側面図)
図示する事項	工作物・機械の配置・運行経路・(幅員・ガードレール・標識)・作業範囲(誘導者・ガードレール・標識) ・危険箇所立入禁止表示・安全通路・作業方法(順序・旋回方向)・その他

平面図・断面図等を用いて、誘導者、合図者、作業区画などの位置を特定する事



アウトリガーを最大張出で使用しているか確認する事



所有会社	△△打設(株)				
選任・氏名	作業責任者	佐々木 洋一	会社名	〇〇建設 株式会社	
	作業指揮者	安部 一郎	会社名	△△打設 株式会社	
	※1 打設装置操作者	安部 一郎	会社名	△△打設 株式会社	
	※2 筒先合図者	中田 卓	会社名	△△打設 株式会社	
	※2 誘導者	中山 孝一	会社名	□□建設 株式会社	
合図	合図手段	無線 ・ 有線 ・ 笛 ・ 旗 ・ 手合図			
	合図方法 (具体的簡潔に記入)	手合図による建設用クレーン標準図法により安全掲示板に掲示する			

地盤強度	堅固 ・ 普通 ・ 軟弱
地盤養生	要 ・ 不要 敷板 ・ 敷鉄板 ・ 敷角 ・ 水平架台 その他()

障害物 架空線 埋設物	障害物	マンホール・縁石・段差 構造物・その他	埋設物	有 GL(m)
	養生方法()		無	
	架空線	架空電線(特高圧・高圧・無)	離隔(m)	
	養生方法()	架空電話線(有・無) ・ その他上空障害物(有・無)		

立入禁止措置	カラーコーン ・ バリケード ・ 立入禁止柵 ・ 監視員 ・ その他 防護措置(カラーコーン及び安全マットにて安全通路を明示)
--------	----------------------------------------------------------------------

厳守事項	
<ul style="list-style-type: none"> 始業前点検を行う【安衛則第172条】 夜間作業等では、必要な照度を確保する アウトリガーを最大に張り出す 地盤強度に応じて、敷鉄板等を使用する 修理作業時は、作業指揮者を定め、必要に応じて安全支柱安全ブロックを使用する【安衛則第165条】 やむを得ず傾斜地に設置する場合は、タイヤに歯止めを確実にする 	<ul style="list-style-type: none"> ホッパーには、スクリーンを取り付ける 閉塞時の復旧作業手順、ポンプ洗浄作業手順を定めて作業を行う 輸送管の固定は、十分強度のある固定機材を用いて緊結し、圧送開始後再点検を行う ホッパー内を点検する場合は、エンジン及び攪拌機を停止させて行う 先端ホースの落下防止措置を確認する 先端ホースの前方や真下に入らない【安衛則第171条の2】

注意事項	指導・指示事項
※1 ポンプ車の運転者は、特別教育を修了した者に行わせ、修了証を確認する	1. 旋回範囲内の立入禁止措置を行う
※2 誘導者及び筒先合図者は、指名したものに合わせる	2. 保護具の使用状況を確認する
	3. アウトリガーの張り出し状況を確認する
	4. 始業前点検を確実にする
	5. 有資格者は資格証を携帯する

作業員確認欄	※当作業計画書に従って作業します 令和〇年〇月〇日							
	洋々木	一安部	孝中山	卓中田	俊比奈	勇木樹下	大梶地尾	徳丸道出

【参考:安全衛生法・安全衛生規則の条文の要約】
 安衛法 第20条の1 事業者は機械、器具その他設備による危険を防止するために必要な措置を講じなければならない。
 第29条の2 不動沈下、路肩崩壊による機械の転倒、架空線による感電等を防止するための措置について
 安衛則 第155条【作業計画】 第156条【制限速度】 第157条の2【転倒時の保護機能】 第158条【接触の防止】
 第159条【合図】 第171条の2【輸送管等の脱落及び振れの防止等】 第171条の6【立入禁止】

車両系建設機械の安全作業

1. 車両系建設機械 整地・運搬・積込＝ブルドーザー、トラクターショベル、グレーダー、スクレーパー
掘削用機械＝パワーショベル、ドラグショベル、ドラクライン、クラムシエル

- (1) 前照灯の設置 《安衛則第152条》
- (2) ヘッドガードの取付 《安衛則第153条》
 - 岩石の落下、木材等の衝突、鉄骨切断物など解体物の落下など運転者へ危険が及ぶ場合
- (3) 調査及び記録 《安衛則第154条》
 - 作業する場所の調査：地形・地質の状態、転落、地山の崩壊等の危険→調査結果
- (4) 作業計画 《安衛則第155条》
 - 前項調査結果に適応する作業計画の作成、当該計画に基づく作業
 - 使用する機械の種類及び能力、運行経路、作業の方法
 - 作業計画を関係作業員へ周知
- (5) 機械の移送 《安衛則第160条》
 - 積卸は平坦な場所で行うこと
 - 道板を使用する場合：十分な長さ、幅、強度のあものを使用し、適切な勾配で確実に設置する
＝建設業労働災害防止協会発行のテキスト等では15度以下の勾配を推奨
 - 盛土、架設台使用時は、幅・強度・勾配を確保
- (6) 運転席から離れる場合の措置 《安衛則第151条の1》
 - フォーク、ショベル等の荷役装置を最低降下位置に置く
 - 原動機を止め、ブレーキを確実にかける
＝その他、キーの抜き取り・施錠・車止めの設置等の逸走防止に必要な措置をおこなうこと
- (7) 乗車席以外への搭乗禁止 《安衛則第162条》
- (8) 使用の制限 《安衛則第163条》
 - 構造上の安定度、最大使用荷重等を守る
- (9) 重たる用途以外の使用制限 《安衛則第164条》
 - 安全な作業の遂行上やむを得ない場合であって、安全確保に必要な措置をすべて満たすこと
- (10) 定期自主検査
 - 1年以内毎に1回 定期自主検査 《安衛則第167条》
 - 1ヶ月以内毎に1回 月例自主検査 《安衛則第168条》
 - 特定自主検査は、定期自主検査をもってする。検査表彰を貼附する 《安衛則第169条の2》
- (11) 定期自主検査の記録 《安衛則第169条》
 - 3年間保存 (機械所有者)
- (12) 作業開始前点検 《安衛則第170条》
- (13) 補修等 《安衛則第171条》
 - 自主検査、点検時に発見された異常は直ちに補修
- (14) 修理又はアタッチメント交換(装着及び取外し作業) 《安衛則第165条》
 - 作業指揮者の指名 職務：作業手順を定める。安全支柱等の使用状況
- (15) アタッチメント装着又は取外し作業 《安衛則第166条の2》
 - アタッチメントが転倒すること等による危険の防止＝架台の使用
- (16) アタッチメント装着の制限 《安衛則第166条の3》
 - 構造上定められた重量を超えるものの装着禁止
- (17) アタッチメント重量の表示等 《安衛則第166条の4》
 - 運転者の見やすい位置にアタッチメントの重量を表示または運転者が容易に確認できる書面の備え付け(バケット、ジッパー等を装着した場合は、容量または最大積載重量を含む)

- (18) 速度制限 《安衛則第156条》
 - 地形、地質の状態等に応じて定める (最高速が10km/h 以下の場合を除く)
- (19) 転倒又は転落の防止 《安衛則第157条》
 - 路肩の崩壊及び地盤の不動沈下の防止
 - 必要な幅員の保持
 - 誘導員を配置して誘導させる等
- (20) 接触の防止 《安衛則第158条》
 - 旋回範囲、可動範囲等の接触の危険がある場所の立入禁止又は誘導員の配置
- (21) 合図 《安衛則第159条》
 - 誘導員を配置した場合の措置：誘導は必ず誘導者が行い、合図の方法を定める
- (22) ブーム等の降下による危険 《安衛則第166条》
 - 修理、点検時に安全支柱、安全ブロックの使用

2. 締固め用機械＝マガダムローラー、タイヤローラー、振動ローラー

- (23) 前項(1)から(22)の該当事項を遵守
 - その他車両系建設機械として安衛則、構造規格等を遵守
- (24) 締固め機械(ローラー)使用時の注意
 - 高速運転、急発進、急停車、急旋回による転倒の危険……乱暴な運転の禁止
 - 死角範囲が広いことにより周辺作業員との接触の危険……立入禁止措置又は見張り員等配置
 - 路肩へ寄りすぎると転落の危険……接近限界表示又は誘導員配置
 - ハンドガイドローラーと障害物に挟まれる……接近限界表示又は誘導員配置
 - 安全に操作できる作業速度

3. 解体用機械＝ブレーカー、鉄骨切断機、コンクリート圧砕機、解体用つかみ機

- (25) 前項(1)から(22)の該当事項を遵守
 - その他車両系建設機械として安衛則、構造規格等を遵守
- (26) 工作物の解体等の作業 《安衛則第171条の6》
 - 作業区域内の関係者以外立入禁止
＝物体の飛来等及びアタッチメントやつかみ機でつかんだものに激突される範囲を含む
 - 悪天候時及び悪天候が予想される場合の作業中止
悪天候＝大雨～1回の降雨量が50mm以上の降雨
大雪～1回の降雪量が25cm以上の積雪
強風～10分間の平均風速が毎秒10m以上の風
- (27) 転倒時保護構造及びシートベルト 《安衛則第157条の2》
 - 傾斜地等で転倒又は転落のおそれがある場所での作業
＝転倒時保護構造を有し、かつシートベルトを備えたもの以外の機会を使用しないよう努める
＝シートベルトを着用させるよう努める
＝誘導員配置、路肩崩壊防止等の措置も含まれる
- (28) 運転室の無い解体用機械の使用禁止 《安衛則第151条の5》 《安衛則第153条》
 - 傾斜地等で転倒又は転落のおそれがある場所での作業(151条の5)
 - 解体用機械を使用する時は、堅固なヘッドガードをそなえたもの(153条)
- (29) 主たる用途以外の使用禁止 《安衛則第164条》
 - 解体用アタッチメントにワイヤーを掛けて吊り作業を行う等の用途外使用禁止



高所作業車作業計画書

作業計画打ち合わせ日 令和〇年〇月〇日

日々点検しチェックすること

統括責任者	元請会社確認	作成者(会社名・担当者)

作業所名	〇〇工事作業所	事業者名	〇〇建設(株)
作業期間	令和〇年〇月〇日～令和〇年〇月〇日	作業日	令和〇年〇月〇日

使用作業名	道路案内標識版設置作業		
-------	-------------	--	--

区分	能力	走行方法	昇降方式	台数	操作位置	資格の種類
1	最大作業床高	トラック ホイール クローラ	垂直 垂直以外	1	作業床 地上 兼用	特別教育
	最大積載荷重					技能講習
	作業床定員					
2	最大作業床高	トラック ホイール クローラ	垂直 垂直以外		作業床 地上 兼用	特別教育
	最大積載荷重					技能講習
	作業床定員					

人員配置	作業責任者	友永 大樹	会社名	〇〇建設 株式会社
	※1 作業指揮者	友永 大樹	会社名	〇〇建設 株式会社
	運転者	野口 幸一	会社名	△△工業 株式会社
	※2 合図者		会社名	

合図方法	手合図	旗	笛	無線機
	その他()			

作業場所	広さ	広い (7 m × 4 m = 28 m ²)	狭い (m × m = m ²)		
	地形	平地	傾斜地()度		
	地盤	強固	普通	軟弱	その他
	架空線	架空電線(特高圧・高圧)	無	離隔(m)	
		養生方法()			
架空電話線(有・無)		無	その他上空障害物(有・無)		

地盤養生	要	不要	敷板	敷鉄板	敷角	水平架台
	その他()					

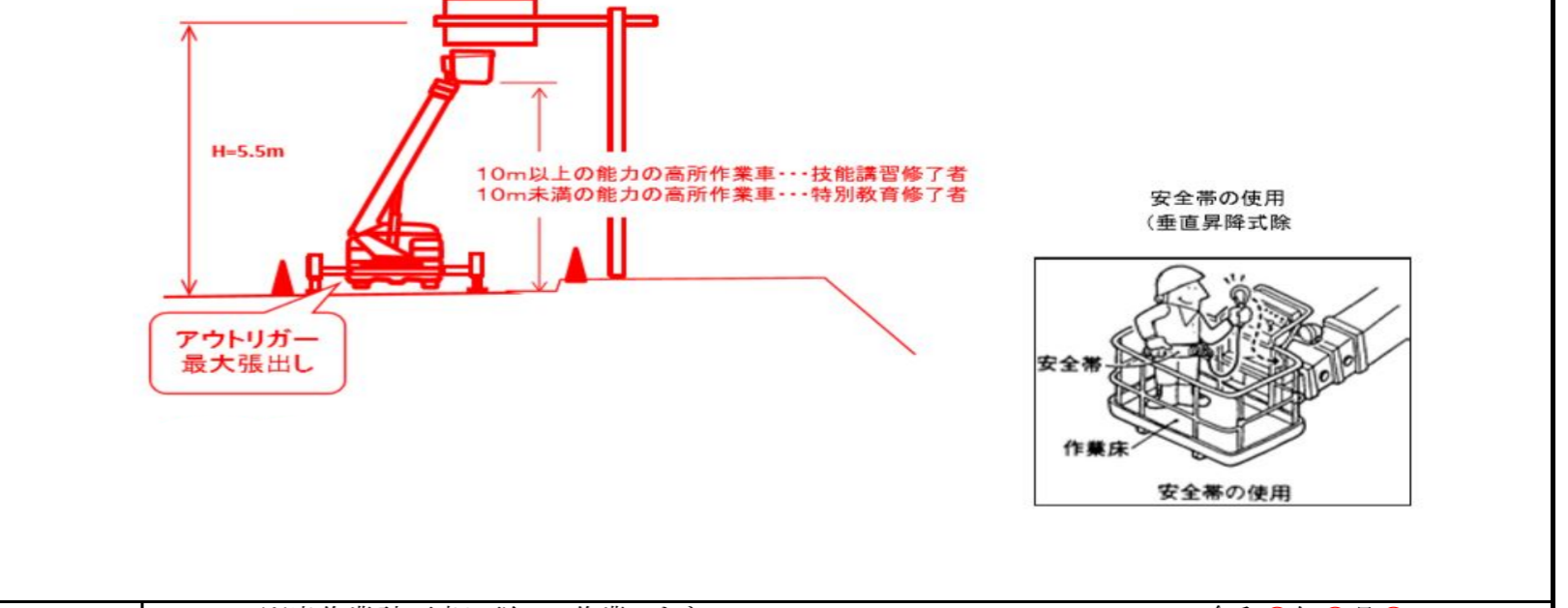
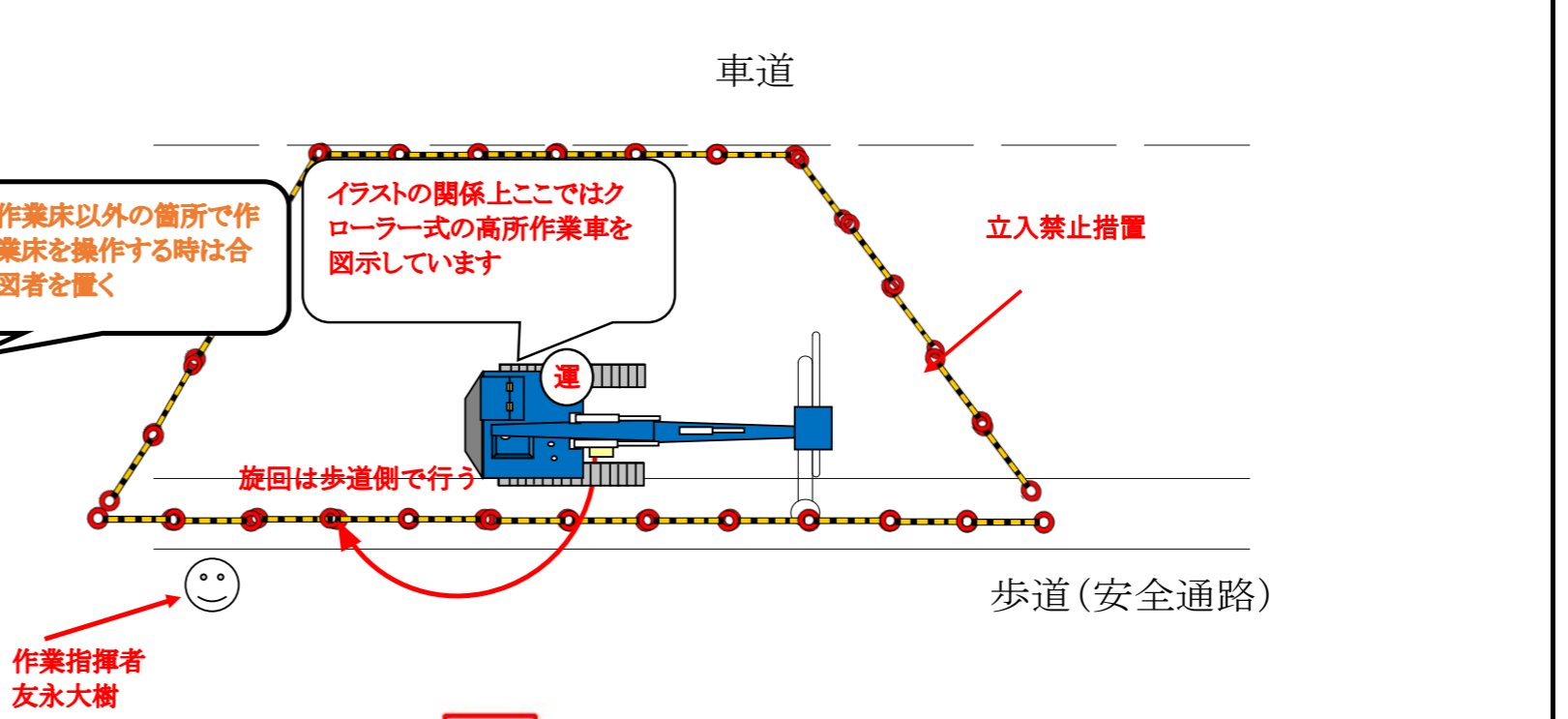
- 厳守事項**
- 始業前点検を行う【安衛則第194条の7】
 - 作業床では定員を守り、安全带を使用して、作業を行う【安衛則第194条の22】
 - 夜間作業や暗渠等などの暗い場所では、必要な照度を確保する
 - アウトリガーを最大張出で、作業を行う【安衛則第194条の1】
 - 地盤強度に応じて、敷鉄板等を使用する【安衛則第194条の1】
 - 運転席から離れる場合は、作業床を最低降下位置に置き、原動機を止め逸走防止措置を行う【安衛則第194条の13】
 - 移送する場合、貨物自動車への積降は平坦、堅固な場所で行う【安衛則第194条の14】
 - 荷の吊り上げ等、用途外の使用は行わない【安衛則第194条の17】
 - 積載荷重その他の能力を超えて、使用することは厳禁【安衛則第194条の16】
 - 作業床から外に乗り移ることや、作業床から物を投下する事は厳禁
 - 作業床で作業を行う者は、必ず安全带を着用して作業を行う
 - 走行時は、作業床及びアウトリガーを収納し、作業床に人を乗せずに走行する【安衛則第194条の20】

※1 修理又は作業床の装着若しくは、取り外しの作業をする場合に、作業指揮者を選任する
 ※2 作業床以外の箇所で作業床を操作する時は、合図者を選任する

指導・指示事項	
1.ブーム直下や、作業床下の人払いを徹底する	4.作業床では安全带を使用する
2.運転席から離れる際は、必ず鍵を抜く	5.アウトリガーは完全張出で作業を行う
3.作業床から身を乗り出して作業を行わない	

配置図記入確認欄
機械位置 付属する機械設備 合図者位置 誘導者位置 旋回方向 立入禁止区域 安全通路 架空線位置
埋設物位置 移動する場合の経路・位置 制限速度 ヘルバンド、腕章による役割の明示

配置図 (作業場所全体を示す平面図・状況に応じて側面図)
 図示する事項 工作物・機械の配置・運行経路・(幅員・ガードレール・標識)・作業範囲(誘導者・ガードレール標識)・危険箇所立入禁止表示
 ・安全通路・作業方法(順序・旋回方向)・その他



作業員確認欄	※当作業計画書に従って作業します				令和〇年〇月〇日			
	大友 樹永	敬原 三田	幸野 一口	司 玉井				

【参考:安全衛生法・安全衛生規則の条文の要約】
 安衛法第29条の2 不動沈下、路肩崩壊による機械の転倒、架空線による感電等を防止するための措置について指導する
 安衛則第194条の11 【転倒・転落の防止】 安衛則第194条の13 【運転位置から離れる場合の措置】
 安衛則第194条の19 【ブーム等の降下による危険の防止】 安衛則第194条の20・21 【作業床への搭乗制限等】
 安衛則第194条の22 【安全带の使用】 安衛則第194条の23・24・26 【定期自主検査等】

クレーン台船作業計画書

作業計画打ち合わせ日 令和 ○年 ○月 ○日

日々点検しチェックすること

統括責任者	元請会社確認	作成者(会社名・担当者)

作業所名	○○防波堤工事作業所	
事業者名	○○建設(株)	
作業予定日時	令和 ○年 ○月 ○日	
作業名	作業 A 消波ブロック設置	
使用機械の能力	名称・型式	120t吊りCCクレーン・SCX1200
	最大つり上げ荷重	120t
	最大地上揚程	30 m
	ブームの長さ	主ブーム 37.9 m ジブブーム 20 m
フック重量	主 0.95t 補 0.5t	

重量・作業	①吊り荷重量 (15)t	②作業半径 (16)m	③フック重量+吊具重量 (1.5)t
数量	④作業半径(②)時の定格総荷重(26.2)t>①+③(16.5t)		
配置図記入確認欄	<input checked="" type="checkbox"/> 台船位置 <input checked="" type="checkbox"/> 付属する機械設備 <input checked="" type="checkbox"/> 合図者位置 <input checked="" type="checkbox"/> 玉掛者位置 <input checked="" type="checkbox"/> 吊荷位置 <input checked="" type="checkbox"/> 荷下ろし位置 <input checked="" type="checkbox"/> 旋回方向 <input checked="" type="checkbox"/> 安全通路 <input checked="" type="checkbox"/> 立入禁止区域 <input type="checkbox"/> 架空線位置 <input checked="" type="checkbox"/> ヘルバンド、腕章による役割の明示		
配置図	(作業場所全体を示す平面図・状況に応じて側面図)		
図示する事項	工作物・近接する構造物・岸壁・クレーン台船の配置・クレーン台船の移動方向・旋回方向・合図者・荷の積卸し位置・障害物(架空線等)・安全通路見張り員・立入禁止範囲・他航行船舶・その他		
※1作業指揮者	クレーンの組立、解体、又はジブの組立等の作業を行うときに選任する【クレーン則33条、75条の2】		

所有会社	○○海洋建設(株)	
作業責任者	田中 三郎	会社名 ○○建設(株)
※1作業指揮者	松永 太郎	会社名 ○○海洋建設(株)
運転者	島田 洋一	会社名 ○○海洋建設(株)
玉掛者	石田 考	会社名 ○○海洋建設(株)
玉外者	中山 太一	会社名 ○○海洋建設(株)
合図者		

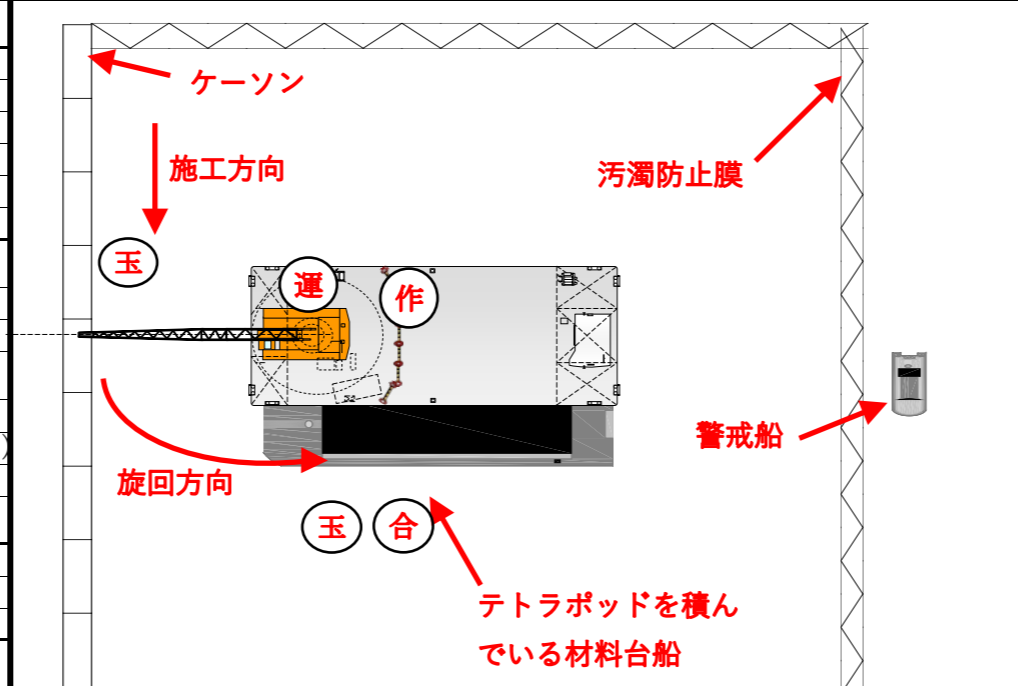
作業方法	吊荷名称	テトラポッド 15t
	玉掛具	ワイヤーロープ φ(50)mm 繊維ベルト ()mm その他()
	玉掛方法	(4)点吊り・玉掛角度(30)度 目通し吊り・その他(吊り金具を使用)
	合図方法	手合図・旗・笛・無線機 その他()

上空障害物	有	架空電線(特高圧・高圧・低圧)
	無	その他() 対策()
立入禁止措置	旋回範囲	監視人・バリケード・カラーコーン ブザー・センサー・モニター その他()
	吊荷下	カラーコーン・バリケード その他()

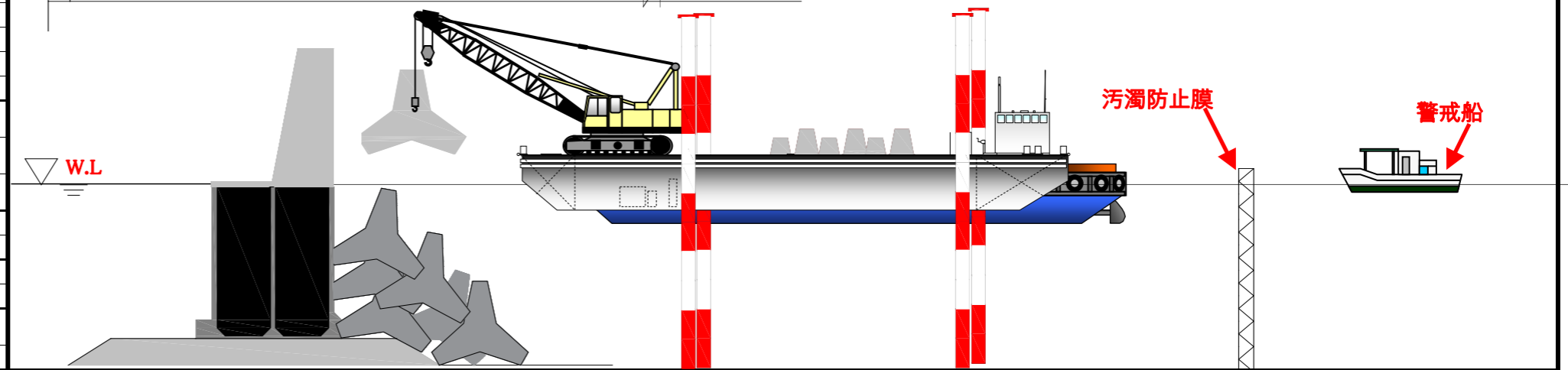
他船舶	他船舶の航行	有 無
	他船舶との合図方法	手合図・旗・無線機・見張り員 その他()

ウインチ	操作の有無	有 無
	操作者	浜田 孝一
曳船	曳船の有無	有 無
	運転者	松永 哲也

スパッド	種類	手動・手動油圧・電動・電動油圧
	操作者	山下 太郎



ブーム長さ(m)	15.2	18.3	21.3	24.4	27.4	30.5	33.5	36.6	39.6	42.7	45.7	48.8	51.8	54.9	57.9	61.0	ブーム長さ(m)
4.5	120.0	108.0	96.0	84.0	72.0	60.0	48.0	36.0	24.0	12.0	6.0	3.0	1.5	0.75	0.375	0.1875	4.5
5.0	100.0	90.0	80.0	70.0	60.0	50.0	40.0	30.0	20.0	10.0	5.0	2.5	1.25	0.625	0.3125	0.15625	5.0
6.0	85.7	77.1	68.6	60.1	51.6	43.1	34.6	26.1	17.6	8.8	4.4	2.2	1.1	0.55	0.275	0.1375	6.0
7.0	73.7	66.3	58.9	51.5	44.1	36.7	29.3	21.9	14.5	7.2	3.6	1.8	0.9	0.45	0.225	0.1125	7.0
8.0	61.5	55.1	48.7	42.3	35.9	29.5	23.1	16.7	10.3	5.1	2.6	1.3	0.65	0.325	0.1625	0.08125	8.0
9.0	52.6	47.1	41.6	36.1	30.6	25.1	19.6	14.1	8.6	4.3	2.1	1.0	0.5	0.25	0.125	0.0625	9.0
10.0	46.6	41.6	36.6	31.6	26.6	21.6	16.6	11.6	6.6	3.3	1.6	0.8	0.4	0.2	0.1	0.05	10.0
12.0	33.0	29.7	26.4	23.1	19.8	16.5	13.2	9.9	6.6	3.3	1.6	0.8	0.4	0.2	0.1	0.05	12.0
14.0	27.5	24.2	20.9	17.6	14.3	11.0	7.7	4.4	2.2	1.1	0.5	0.25	0.125	0.0625	0.03125	0.015625	14.0
16.0	23.1	19.8	16.5	13.2	9.9	6.6	3.3	1.6	0.8	0.4	0.2	0.1	0.05	0.025	0.0125	0.00625	16.0
18.0	19.8	16.5	13.2	9.9	6.6	3.3	1.6	0.8	0.4	0.2	0.1	0.05	0.025	0.0125	0.00625	0.003125	18.0
20.0	17.6	14.3	11.0	7.7	4.4	2.2	1.1	0.5	0.25	0.125	0.0625	0.03125	0.015625	0.0078125	0.00390625	0.001953125	20.0
22.0	15.4	12.1	8.8	5.5	2.2	1.1	0.5	0.25	0.125	0.0625	0.03125	0.015625	0.0078125	0.00390625	0.001953125	0.0009765625	22.0
24.0	13.2	9.9	6.6	3.3	1.6	0.8	0.4	0.2	0.1	0.05	0.025	0.0125	0.00625	0.003125	0.0015625	0.00078125	24.0
26.0	11.0	8.0	5.0	2.5	1.25	0.625	0.3125	0.15625	0.078125	0.0390625	0.01953125	0.009765625	0.0048828125	0.00244140625	0.001220703125	0.0006103515625	26.0
28.0	9.9	7.0	4.1	2.0	1.0	0.5	0.25	0.125	0.0625	0.03125	0.015625	0.0078125	0.00390625	0.001953125	0.0009765625	0.00048828125	28.0
30.0	8.8	6.0	3.2	1.6	0.8	0.4	0.2	0.1	0.05	0.025	0.0125	0.00625	0.003125	0.0015625	0.00078125	0.000390625	30.0
32.0	7.7	5.0	2.5	1.25	0.625	0.3125	0.15625	0.078125	0.0390625	0.01953125	0.009765625	0.0048828125	0.00244140625	0.001220703125	0.0006103515625	0.00030517578125	32.0
34.0	6.6	4.0	2.0	1.0	0.5	0.25	0.125	0.0625	0.03125	0.015625	0.0078125	0.00390625	0.001953125	0.0009765625	0.00048828125	0.000244140625	34.0
36.0	5.5	3.0	1.5	0.75	0.375	0.1875	0.09375	0.046875	0.0234375	0.01171875	0.005859375	0.0029296875	0.00146484375	0.000732421875	0.0003662109375	0.00018310546875	36.0
38.0	4.4	2.0	1.0	0.5	0.25	0.125	0.0625	0.03125	0.015625	0.0078125	0.00390625	0.001953125	0.0009765625	0.00048828125	0.000244140625	0.0001220703125	38.0
40.0	3.3	1.5	0.75	0.375	0.1875	0.09375	0.046875	0.0234375	0.01171875	0.005859375	0.0029296875	0.00146484375	0.000732421875	0.0003662109375	0.00018310546875	0.000091552734375	40.0
42.0	2.2	1.0	0.5	0.25	0.125	0.0625	0.03125	0.015625	0.0078125	0.00390625	0.001953125	0.0009765625	0.00048828125	0.000244140625	0.0001220703125	0.00006103515625	42.0
44.0	1.1	0.5	0.25	0.125	0.0625	0.03125	0.015625	0.0078125	0.00390625	0.001953125	0.0009765625	0.00048828125	0.000244140625	0.0001220703125	0.00006103515625	0.000030517578125	44.0
46.0	0.5	0.25	0.125	0.0625	0.03125	0.015625	0.0078125	0.00390625	0.001953125	0.0009765625	0.00048828125	0.000244140625	0.0001220703125	0.00006103515625	0.000030517578125	0.0000152587890625	46.0
48.0	0.25	0.125	0.0625	0.03125	0.015625	0.0078125	0.00390625	0.001953125	0.0009765625	0.00048828125	0.000244140625	0.0001220703125	0.00006103515625	0.000030517578125	0.0000152587890625	0.00000762939453125	48.0
50.0	0.125	0.0625	0.03125	0.015625	0.0078125	0.00390625	0.001953125	0.0009765625	0.00048828125	0.000244140625	0.0001220703125	0.00006103515625	0.000030517578125	0.0000152587890625	0.00000762939453125	0.000003814697265625	50.0
52.0	0.0625	0.03125	0.015625	0.0078125	0.00390625	0.001953125	0.0009765625	0.00048828125	0.000244140625	0.0001220703125	0.00006103515625	0.000030517578125	0.0000152587890625	0.00000762939453125	0.000003814697265625	0.0000019073486328125	52.0
54.0	0.03125	0.015625	0.0078125	0.00390625	0.001953125	0.0009765625	0.00048828125	0.000244140625	0.0001220703125	0.00006103515625	0.000030517578125	0.0000152587890625	0.00000762939453125	0.000003814697265625	0.0000019073486328125	0.00000095367431640625	54.0
56.0	0.015625	0.0078125	0.00390625	0.001953125	0.0009765625	0.00048828125	0.000244140625	0.0001220703125	0.00006103515625	0.000030517578125	0.0000152587890625	0.00000762939453125	0.000003814697265625	0.0000019073486328125	0.00000095367431640625	0.000000476837158203125	56.0



厳守・注意事項	
1.クレーンOPへの合図は、連絡できる安全な場所から行う	4.水流(潮流)が早い際は、吊荷が横移動し、ジブ先端に横方向の力が作用し、ジブ強度に悪影響を及ぼすので注意する
2.ウインチ操作時は、合図者の指示に従い行う	6.水上におけるクレーン作業は、気象や海象などの影響を受けやすいので、注意する
3.作業開始前に、クレーン・ウインチ・その他設備の始業前点検を行う	
4.クレーンOPは、必ず資格証を携帯する	
指導・指示事項	
1.荷の安定を図るために333運動を実施する	4.台船上は狭いので、クレーンが作業員と接触するのを防止するために、旋回範囲内の立入禁止措置を徹底する
2.他航行船舶との連絡や、合図を密に行い、船舶同士の接触事故を防止する	
3.使用機械の始業前点検を行う	

作業員確認欄	三田 太郎	太松 郎永	洋島 一田	石 考	太中 一山	幸浜 一田	哲松 也永	太山 郎下
※当作業計画書に従って作業します 令和○年○月○日								
【参考:安全衛生法・安全衛生規則の条文の要約】 安衛法 第20条の1 ・事業者は、機械、器具その他設備による危険を防止するために必要な措置を講じなければならない								
クレーン則第66条の2【作業の方法の決定等】 クレーン則第67条【特別の教育】 クレーン則第68条【就業制限】 クレーン則第69条【過負荷の制限】 クレーン則第70条の2【定格荷重の表示等】 クレーン則第70条の3【使用の禁止】 クレーン則第70条の4【アウトリガーの位置】 クレーン則第70条の5【アウトリガー等の張り出し】 クレーン則第71条【運転の合図】 クレーン則第74条【立入禁止】 クレーン則第74条の4【強風等の作業中止】								

クレーン台船作業計画書

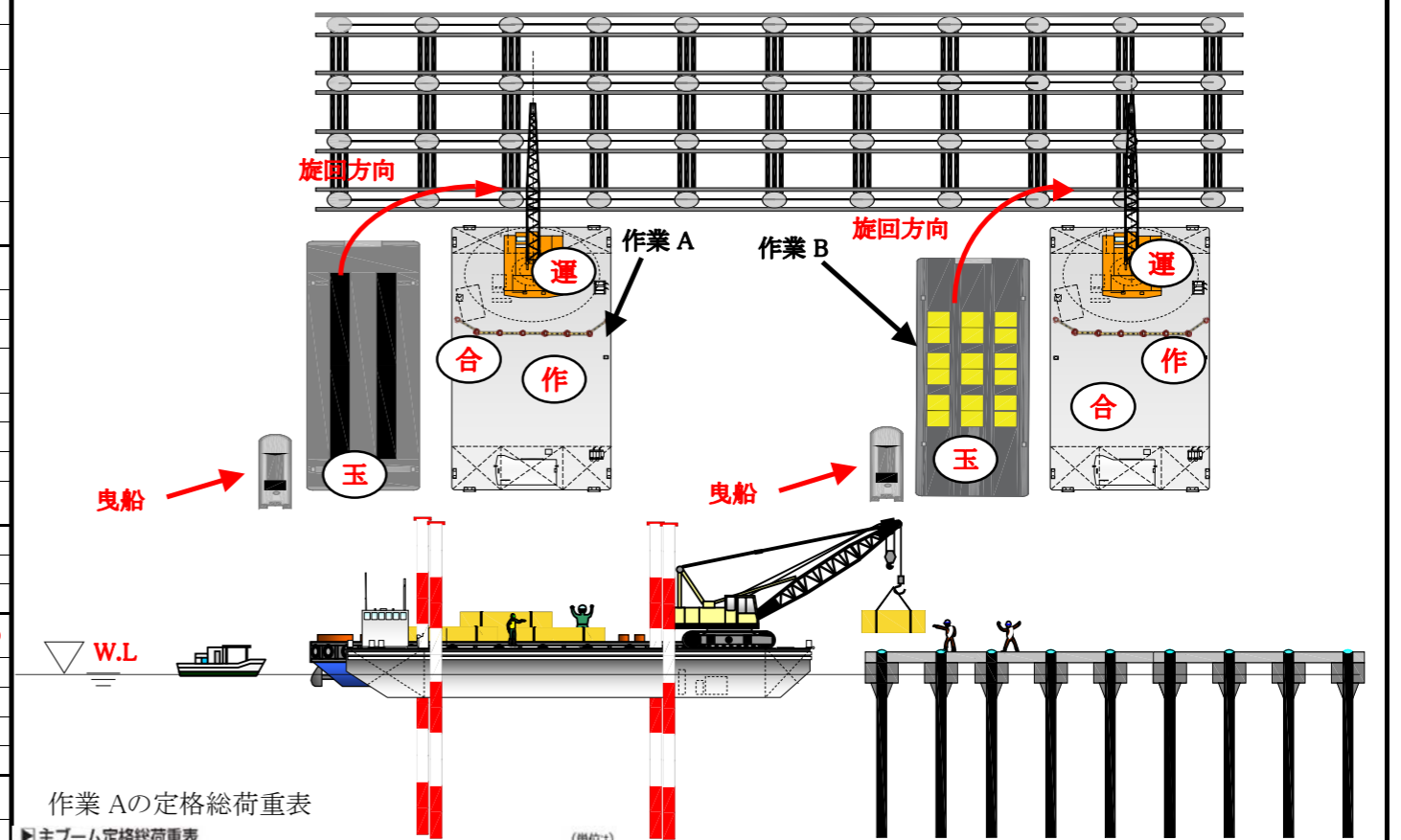
作業計画打ち合わせ日 令和〇年〇月〇日

統括責任者	元請会社確認	作成者(会社名・担当者)
-------	--------	--------------

日々点検しチェックすること

作業所名	〇〇棧橋支保工仮架設		事業者名	〇〇建設(株)	
作業期間	令和〇年〇月〇日～令和〇年〇月〇日				
作業予定日時	令和〇年〇月〇日		令和〇年〇月〇日		
作業名	作業 A 鉄筋材の荷揚げ		作業 B 型枠材搬入		
使用機械の能力	名称・型式 120t吊りCCクレーン・SCX1200		名称・型式 120t吊りCCクレーン・SCX1200		
	最大つり上げ荷重 120 t		最大つり上げ荷重 120 t		
	最大地上揚程 30 m		最大地上揚程 30 m		
	ブームの長さ	主ブーム 25.7 m ジブブーム 20 m	ブームの長さ		主ブーム 25.7 m ジブブーム 20 m
フック重量	主 0.95 t 補 0.5 t	フック重量		主 0.95 t 補 0.5 t	
所有会社	〇〇海洋建設(株)		〇〇海洋建設(株)		
作業責任者	田中 三郎	会社名	〇〇建設(株)		
※1作業指揮者	会社名		会社名		
運転者	松永 太郎	会社名	〇〇海洋建設(株)		
玉掛者	島田 洋一	会社名	〇〇海洋建設(株)		
玉外者	石田 考	会社名	〇〇海洋建設(株)		
合図者	中山 太一	会社名	〇〇海洋建設(株)		
作業方法	吊荷名称	H型鋼 1160kg		吊荷名称	型枠材 5400kg
	玉掛具	ワイヤーロープ φ(18)mm 繊維ベルト ()mm その他()		玉掛具	ワイヤーロープ φ(30)mm 繊維ベルト ()mm その他()
	玉掛方法	(2)点吊り・玉掛角度(30)度 目通し吊り・その他()		玉掛方法	(2)点吊り・玉掛角度()度 目通し吊り・その他(吊り金具使用)
	合図方法	手合図・旗・笛・無線機 その他()		合図方法	手合図・旗・笛・無線機 その他()
上空障害物	有・無	架空電線(特高压・高压・低压) その他() 対策()		有・無	架空電線(特高压・高压・低压) その他() 対策()
	立入禁止措置	監視人・バリケード・カラーコーン ブザー・センサー・モニター その他()		監視人・バリケード・カラーコーン ブザー・センサー・モニター その他()	
他船舶	他船舶の航行	有・無		有・無	
	他船舶との合図方法	手合図・旗・無線機・見張り員 その他()		手合図・旗・無線機・見張り員 その他()	
ウインチ	操作の有無	有・無		有・無	
	操作者	有・無		有・無	
曳船	曳船の有無	有・無		有・無	
	運転者	松永 哲也		松永 哲也	
スパッド	種類	手動・手動油圧・電動・電動油圧		手動・手動油圧・電動・電動油圧	
	操作者	山下 太郎		山下 太郎	

作業 A	①吊り荷重量 (1.16)t ②作業半径 (20)m ③フック重量+吊具重量 (1.5)t ④作業半径(2)時の定格総荷重 (19.1)t>①+③(2.66t)	作業 B	①吊り荷重量 (5.4)t ②作業半径 (16)m ③フック重量+吊具重量 (1.5)t ④作業半径(2)時の定格総荷重 (26.2)t>①+③(6.9t)
配置図記入確認欄			
<input checked="" type="checkbox"/> 台船位置 <input checked="" type="checkbox"/> 付属する機械設備 <input checked="" type="checkbox"/> 合図者位置 <input checked="" type="checkbox"/> 玉掛者位置 <input checked="" type="checkbox"/> 吊荷位置 <input checked="" type="checkbox"/> 下ろし位置 <input checked="" type="checkbox"/> 旋回方向 <input checked="" type="checkbox"/> 安全通路 <input type="checkbox"/> 立入禁止区域 <input type="checkbox"/> 架空線位置 <input checked="" type="checkbox"/> ヘルバンド、腕章による役割の明示			
配置図 (作業場所全体を示す平面図・状況に応じて側面図)			
図示する事項 工作物・近接する構造物・岸壁・クレーン台船の配置・クレーン台船の移動方向・旋回方向・合図者荷の積卸し位置・障害物(架空線等)・安全通路・見張り員・立入禁止範囲・他航行船舶・その他			
※1作業指揮者:クレーンの組立、解体、又はジブの組立等の作業を行うときに選任する【クレーン則33条、75条の2】			



作業 A の定格総荷重表 (単位:t)

作業半径(m)	15.2	18.3	21.3	24.4	27.4	30.5	33.5	36.6	39.6	42.7	45.7	48.8	51.8	54.9	57.9	61.0
4.5	15.2	18.3	21.3	24.4	27.4	30.5	33.5	36.6	39.6	42.7	45.7	48.8	51.8	54.9	57.9	61.0
5.0	15.2	18.3	21.3	24.4	27.4	30.5	33.5	36.6	39.6	42.7	45.7	48.8	51.8	54.9	57.9	61.0
6.0	15.2	18.3	21.3	24.4	27.4	30.5	33.5	36.6	39.6	42.7	45.7	48.8	51.8	54.9	57.9	61.0
7.0	15.2	18.3	21.3	24.4	27.4	30.5	33.5	36.6	39.6	42.7	45.7	48.8	51.8	54.9	57.9	61.0
8.0	15.2	18.3	21.3	24.4	27.4	30.5	33.5	36.6	39.6	42.7	45.7	48.8	51.8	54.9	57.9	61.0
9.0	15.2	18.3	21.3	24.4	27.4	30.5	33.5	36.6	39.6	42.7	45.7	48.8	51.8	54.9	57.9	61.0
10.0	15.2	18.3	21.3	24.4	27.4	30.5	33.5	36.6	39.6	42.7	45.7	48.8	51.8	54.9	57.9	61.0
12.0	15.2	18.3	21.3	24.4	27.4	30.5	33.5	36.6	39.6	42.7	45.7	48.8	51.8	54.9	57.9	61.0
14.0	15.2	18.3	21.3	24.4	27.4	30.5	33.5	36.6	39.6	42.7	45.7	48.8	51.8	54.9	57.9	61.0
16.0	15.2	18.3	21.3	24.4	27.4	30.5	33.5	36.6	39.6	42.7	45.7	48.8	51.8	54.9	57.9	61.0
18.0	15.2	18.3	21.3	24.4	27.4	30.5	33.5	36.6	39.6	42.7	45.7	48.8	51.8	54.9	57.9	61.0
20.0	15.2	18.3	21.3	24.4	27.4	30.5	33.5	36.6	39.6	42.7	45.7	48.8	51.8	54.9	57.9	61.0
22.0	15.2	18.3	21.3	24.4	27.4	30.5	33.5	36.6	39.6	42.7	45.7	48.8	51.8	54.9	57.9	61.0
24.0	15.2	18.3	21.3	24.4	27.4	30.5	33.5	36.6	39.6	42.7	45.7	48.8	51.8	54.9	57.9	61.0
26.0	15.2	18.3	21.3	24.4	27.4	30.5	33.5	36.6	39.6	42.7	45.7	48.8	51.8	54.9	57.9	61.0

作業 B の定格総荷重表 (単位:t)

作業半径(m)	15.2	18.3	21.3	24.4	27.4	30.5	33.5	36.6	39.6	42.7	45.7	48.8	51.8	54.9	57.9	61.0
4.5	15.2	18.3	21.3	24.4	27.4	30.5	33.5	36.6	39.6	42.7	45.7	48.8	51.8	54.9	57.9	61.0
5.0	15.2	18.3	21.3	24.4	27.4	30.5	33.5	36.6	39.6	42.7	45.7	48.8	51.8	54.9	57.9	61.0
6.0	15.2	18.3	21.3	24.4	27.4	30.5	33.5	36.6	39.6	42.7	45.7	48.8	51.8	54.9	57.9	61.0
7.0	15.2	18.3	21.3	24.4	27.4	30.5	33.5	36.6	39.6	42.7	45.7	48.8	51.8	54.9	57.9	61.0
8.0	15.2	18.3	21.3	24.4	27.4	30.5	33.5	36.6	39.6	42.7	45.7	48.8	51.8	54.9	57.9	61.0
9.0	15.2	18.3	21.3	24.4	27.4	30.5	33.5	36.6	39.6	42.7	45.7	48.8	51.8	54.9	57.9	61.0
10.0	15.2	18.3	21.3	24.4	27.4	30.5	33.5	36.6	39.6	42.7	45.7	48.8	51.8	54.9	57.9	61.0
12.0	15.2	18.3	21.3	24.4	27.4	30.5	33.5	36.6	39.6	42.7	45.7	48.8	51.8	54.9	57.9	61.0
14.0	15.2	18.3	21.3	24.4	27.4	30.5	33.5	36.6	39.6	42.7	45.7	48.8	51.8	54.9	57.9	61.0
16.0	15.2	18.3	21.3	24.4	27.4	30.5	33.5	36.6	39.6	42.7	45.7	48.8	51.8	54.9	57.9	61.0
18.0	15.2	18.3	21.3	24.4	27.4	30.5	33.5	36.6	39.6	42.7	45.7	48.8	51.8	54.9	57.9	61.0
20.0	15.2	18.3	21.3	24.4	27.4	30.5	33.5	36.6	39.6	42.7	45.7	48.8	51.8	54.9	57.9	61.0

厳守・注意事項	
1.クレーンOPへの合図は、連絡できる安全な場所から行う	4.水流(潮流)が早い際は、吊荷が横移動し、ジブ先端に横方向の力が、作用しジブ強度に悪影響を及ぼすので注意する
2.ウインチ操作時は、合図者の指示に従い行う	6.水上におけるクレーン作業は、気象や海象などの影響を受けやすいので留意する
3.作業開始前にクレーン・ウインチ・その他設備の始業前点検を行う	
4.クレーンOPは、必ず資格証を携帯する	
指導・指示事項	
1.荷の安定を図るために333運動を実施する	4.台船上は、狭いのでクレーンが作業員と接触するのを防止するために、旋回範囲内の立入禁止措置を徹底する
2.他航行船舶との連絡や、合図を密に行い船舶同士の接触事故を防止する	5.台船上の玉掛者は玉掛後旋回範囲外に待避する
3.使用機械の始業前点検を行う	

作業員確認欄	三田 郎中	太松 郎永	洋島 一田	考 石 田	太中 一山	哲松 也永	太山 郎下
【参考:安全衛生法・安全衛生規則の条文の要約】 安衛法 第20条の1・事業者は、機械、器具その他設備による危険を防止するために必要な措置を講じなければならない							
クレーン則第66条の2【作業の方法の決定等】 クレーン則第67条【特別的教育】 クレーン則第68条【就業制限】 クレーン則第69条【過負荷の制限】 クレーン則第70条の2【定格荷重の表示等】 クレーン則第70条の3 【使用の禁止】 クレーン則第70条の4【アウトリガーの位置】 クレーン則第70条の5【アウトリガー等の張り出し】 クレーン則第71条【運転の合図】 クレーン則第74条【立入禁止】 クレーン則第74条の4【強風等の作業中止】							

クレーン仕様のBH作業計画書

作業計画打合せ日 令和〇年〇月〇日

日々点検しチェックすること

統括責任者	元請会社確認	作成者(会社名・担当者)
-------	--------	--------------

作業所名	〇〇工事事務所		事業者名	〇〇建設(株)	
作業期間	令和〇年〇月〇日～令和〇年〇月〇日				
作業予定日時	令和〇年〇月〇日				
作業名	作業A 資機材整理		作業B		
使用機械の能力	名称・型式	SK135-SR-3		名称・型式	
	最大吊上げ荷重(定置吊り)	2.9t		最大吊上げ荷重(定置吊り)	
	最大吊上げ揚程(定置吊り)	5.5m		最大吊上げ揚程(定置吊り)	
所有会社	〇〇機械(株)				
運転者	田村 一樹	会社名	〇〇機械(株)	会社名	
作業責任者	友永 優紀	会社名	〇〇建設(株)	会社名	
玉掛者	木野 正一	会社名	△△工業(株)	会社名	
玉外者	日野 仁司	会社名	△△工業(株)	会社名	
合図者	橋本 太一	会社名	△△工業(株)	会社名	
作業方法	吊荷名称	資機材(最大約1350kg 最小約130kg)		吊荷名称	
	玉掛具	ワイヤーロープ φ(12)mm		ワイヤーロープ φ()mm	
		繊維ベルト ()mm		繊維ベルト ()mm	
		その他()		その他()	
	玉掛方法	(2)点吊り・玉掛角度(30)度		玉掛方法	()点吊り・玉掛角度()度
		目通し吊り・その他()			目通し吊り・その他()
	合図方法	手合図・旗・笛・無線機		合図方法	手合図・旗・笛・無線機
		その他()			その他()
地形	平地・傾斜地()度・段差地・路肩		平地・傾斜地()度・段差地・路肩		
作業場所	広い・狭い		広い・狭い		
地盤強度	堅固・普通・軟弱		堅固・強固・普通・軟弱		
地盤養生	要・不要		要・不要		
	敷板・敷鉄板・敷角・水平架台		敷板・敷鉄板・敷角・水平架台		
	その他()		その他()		
架空線	有・無		有・無		
	架空電線(特電圧・高圧・低圧)・電話線		架空電線(特電圧・高圧・低圧)・電話線		
	対策		対策		
埋設物	有・無		有・無		
	GL m		GL m		
立入禁止措置	旋回範囲	監視人・バリケード・カラーコーン		旋回範囲	監視人・バリケード・カラーコーン
		標識の設置・マグネットポール			標識の設置・マグネットポール
		その他()			その他()
	移動範囲	監視人・バリケード・カラーコーン		移動範囲	監視人・バリケード・カラーコーン
	その他()			その他()	
吊荷下	カラーコーン・バリケード		カラーコーン・バリケード		
	その他()		その他()		

作業 A ①吊り荷重量 (1.35)t ②作業半径 (4)m ③フック重量+吊具重量 (0.0125)t ④作業半径(②)時の定格総荷重(2.4)t > ①+③(1.4t)

作業 B ①吊り荷重量 ()t ②作業半径 ()m ③フック重量+吊具重量 ()t ④作業半径(②)時の定格総荷重()t > ①+③()t

配置図記入確認欄
機械位置 付属する機械設備 合図者位置 誘導者位置 旋回方向 立入禁止区域 安全通路
架空線位置 埋設物位置 移動する場合の経路・位置 制限速度 ヘルバンド、腕章による役割の明示

配置図 (作業場所全体を示す平面図・状況に応じて側面図)
 図示する事項 工作物・近接する構造物・岸壁・クレーン台船の配置・クレーン台船の移動方向・旋回方向・合図者荷の積卸し位置・障害物(架空線等)・安全通路・見張り員・立入禁止範囲・他航行船舶・その他

メーカー

型 式	SK30SR-6	SK45SR-6	SK55SR-6	SK75SR-3E	SK135SR-3	SK225SR-3
標準バケット容量 (m³)	0.09	0.14	0.16	0.28	0.5	0.8
最大吊り上げ能力 定置吊り (t × m)	0.9 × 2.0	0.99 × 2.5	0.99 × 3.0	1.7 × 2.5	2.9 × 2.4	2.9 × 6.0
最大吊り上げ能力 走行吊り (t × m)	0.45 × 2.0	0.49 × 2.5	0.49 × 3.0	0.8 × 2.5	1.4 × 2.4	1.4 × 5.5
旋回速度 (min⁻¹)	5.1*	5.4*	5.4*	6.0*	6.0*	6.0*
走行速度 (km/h)	1.5*	2.4/1.4	2.4/1.4	1.8*	2.7*	1.7*
巻取能力 (%)	58 [30]	58 [30]	58 [30]	70 [35]	70 [35]	70 [35]
エンジン定格出力 (kW [PS])	17.1 [23/2,400]	28.3 [38/2,400]	28.3 [38/2,400]	41.0 [57/2,000]	69.2 [94/2,000]	110 [150/2,000]
運転質量 (kg)	3,435	4,700	5,170	7,440	13,600	22,600
シュー幅 (mm)	300	400	400	450	500	600
接地圧 (kPa) [kgf/cm²]	29.4 [0.30]	27.0 [0.28]	30.4 [0.31]	33.4 [0.34]	41.0 [0.42]	11.0 [0.52]
アーム長さ (STDアーム) (m)	1.32	1.55	1.69	1.71	2.38	2.87
A 最大吊り上げ高さ (m)	2,610	3,120	3,340	4,180	5,520	6,310
B 同上時作業半径 (m)	3,270	3,350	3,630	2,600	3,800	4,670
C 最大吊り下げ高さ (m)	2,490	3,080	3,510	3,000	4,910	5,820
D 同上時作業半径 (m)	2,240	2,220	2,120	3,260	3,420	3,980
E 最大作業半径 (m)	4,600	5,170	5,560	5,570	7,320	8,500
F 最小作業半径 (m)	1,970	1,920	1,870	2,500	2,400	2,500
G 同上時吊り高さ (m)	1,610	1,850	1,940	3,940	3,440	3,670

定格総荷重表 (定置吊り)

作業半径	後方小旋回型ミニ油圧ショベル			後方小旋回油圧ショベル		
	SK30SR-6	SK45SR-6	SK55SR-6	SK75SR-3E	SK135SR-3	SK225SR-3
1m						
2m	0.90	0.99	0.99	1.7 (2.5m)	2.9 (2.4m)	2.9 (2.5m)
3m	0.38	0.90	0.99	1.7	2.9	2.9
4m	0.23	0.56	0.65	0.9	2.4	2.9
5m	0.19 (4.6m)	0.39	0.46	0.6	1.7	2.9
6m		0.39 (5.1m)	0.4 (5.5m)		1.3	2.9
7m					1.0	2.3
8m					0.9 (7.3m)	1.8
9m						1.7 (8.5m)
フック質量 kg	3.9	6.5	6.5	10.9	12.5	13.9

※当作業計画書に従って作業します 令和〇年〇月〇日

作業員確認欄

一田 樹村	優友 紀永	正木 一野	仁日 司野	太橋 一本
-------	-------	-------	-------	-------

厳守事項

- BHをクレーン仕様にて使用する場合は、必ずクレーンモードにて使用する
- クレーンモードを使用する際は、必ず適正な免許を保有する者が、操作を行い玉掛は必ず有資格者が行う
- パワーショベルによる荷の吊り上げ、クラムシェルによる労働者の昇降等当該車両系建設機械の主たる用途以外の用途に車両系建設機械を使用しない(用途外作業の禁止)
- 作業開始前の始業前点検を必ず行い、回転灯(クレーンモード時に点灯)の点灯を確認し、過負荷制限装置等についても点検を行い、不備があれば修理または使用しない

指導・指示事項

- 必ずクレーンモードにて使用し、回転灯の点灯を確認する
- 旋回範囲や、吊荷下の立入禁止措置が、行われているか確認する
- 吊り具や玉掛用具の始業前点検を行い良好な物には月別点検色のテープを巻いて使用すること

【参考:安全衛生法・安全衛生規則の条文の要約】
 安衛法 第20条の1・事業者は、機械、器具その他設備による危険を防止するために必要な措置を講じなければならない

クレーン則第66条の2【作業の方法の決定等】 クレーン則第67条【特別的教育】 クレーン則第68条【就業制限】
 クレーン則第69条【過負荷の制限】 クレーン則第70条の2【定格荷重の表示等】
 クレーン則第70条の3【使用の禁止】 クレーン則第71条【運転の合図】 クレーン則第74条【立入禁止】
 クレーン則第74条の4【強風等の作業中止】